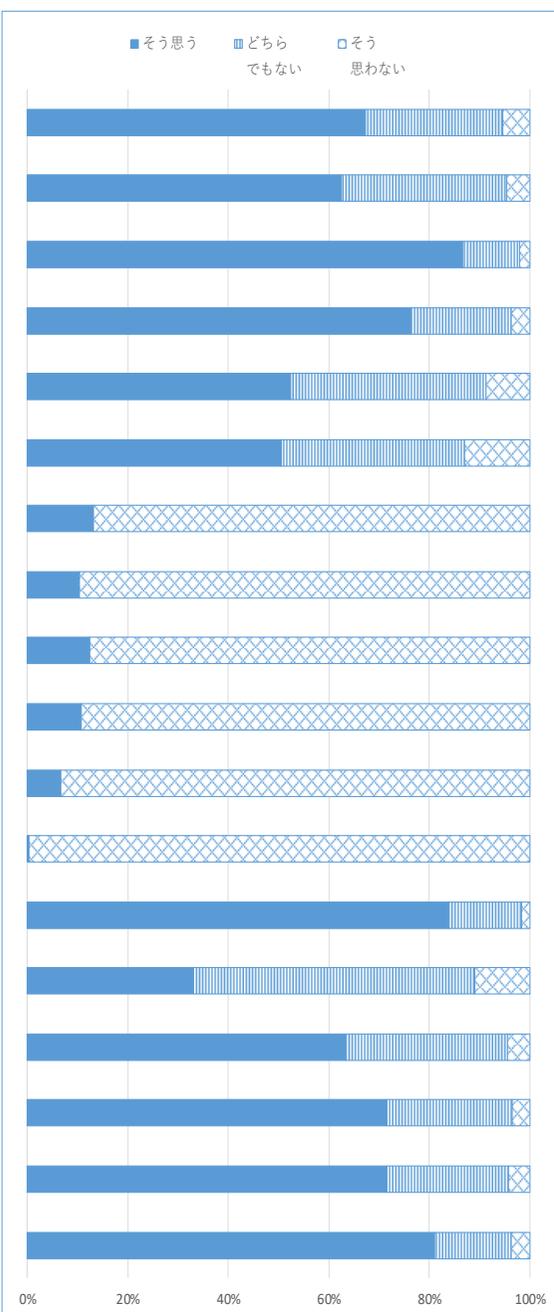


心と体の元気調べ（1学期）を実施しました

「心と体の元気調べ」は、年に3回子どもたちの学校生活の様子を把握するためのアンケートで、選択する部分と自由に記述する部分があります。「いじめアンケート」を兼ねており、子どもたちが抱えている悩みなどを、このアンケートからすくい上げ、指導に生かしています。

この度、1学期の「心と体の元気調べ」を2～6年生で（1年生は2学期から）実施し、結果の集計が出ましたので、以下に、集計を「表」と「グラフ」で表し、その考察を右面にお示しします。

質問項目	そう思う	どちらでもない	そう思わない	
自分自身について	1 学校に来るのが 楽しいです。	67%	27%	5%
	2 授業が よくわかります。	63%	33%	5%
	3 みんなで 何かするのは 楽しいと 思います。	87%	11%	2%
	4 仲のよい人から頼まれても 正しくないことは ことわかります。	76%	20%	4%
	5 わたしは みんなが仲良くなれるように 自分からは たらきかけることができます。	52%	39%	9%
	6 今の自分が好きです。	51%	36%	13%
いじめのこと	1 友だちのことで 困っていることがあります。	13%		87%
	2 友だちに たたかれたり けられたり 強く押されたりした。	10%		90%
	3 友だちに 暴力ではないが いじわるをされて いやな思いをした。	12%		88%
	4 周りで 困っている人を見たことがあります。（ぼうりょくや悪口、いじわるをされている人）	11%		89%
	5 暴力や いじわるなどで 友だちにいやな思いをさせた。	7%		93%
	6 無料つうしんアプリ SNS メールでのトラブルがありました。	0%		100%
クラスの人のこと	1 クラスの人といつも仲よくしています。	84%	14%	2%
	2 クラスの人の役に立っていると感じています。	33%	56%	11%
	3 クラスの人といつもいっしょにいるとき 相手の気持ちを 考えて行動しています。	63%	32%	4%
	4 クラスの人がこまっている時 助けてあげたり 誘ってあげることができます。	72%	25%	3%
	5 クラスの人が失敗したとき はげましてあげることができます。	72%	24%	4%
	6 クラスの人が何かうまくできたとき ほめることができます。	81%	15%	4%



※割合は各々四捨五入しているため、合計100%を超えることがあります。

運動会の予定 新型コロナ感染症拡大状況により変更の可能性があります、10月15日の土曜開催とし17日の月曜が代休の予定です。児童数が多い本校は、全校児童と保護者が一度に集まる形は密を避けられないため、今年度も昨年同様の2学年ずつ3部開催の予定です。今年度は、各学年、「団体演技」と走（「個人走」か「リレー」）に取り組みます。詳細については、9月にお知らせいたします。

地域行事 7月3日（日）19時より「全市一斉合同夜間パトロール」が3年振りに開催されました。本校教職員も7名参加し、総勢約70名で地域をパトロールしました。今後の「市民体育祭」や各地区の「盆踊り」等の地域行事については、春から検討を重ねておられたようですが、新型コロナ感染症拡大状況により可否を決定されます。一つでも多く開催できることを切に願います。

＜自分自身について＞

「3.みんなで何かするのは楽しいと思います」では、「そう思う」が87%と非常に高く、集成型教育（学校に登校して行う教育）の必要性や、1学期に様々実施することができた学校行事（参観、日曜参観、学校公開、校外学習、児童会行事等）の大切さを再認識しました。

一方で「1.学校に来るのが楽しい」や「2.授業がよくわかります」は、本来100%が「そう思う」であってほしいところですが、「そう思う」がそれぞれ60%台で、「そう思わない」が5%ありました。理由は様々ですが、学校の努力や工夫で改善できるところもあると考えます。

「6.今の自分が好きです」では、「そう思う」が51%と低い値に留まり、「そう思わない」が13%ありました。大人に向かうこの時期は、自己肯定感や自尊感情を高め自分に自信を持って様々なことに向かって欲しいと思います。コロナ禍ですが、1学期は学校行事がたくさんありました。学校でも、「成功した経験」「成長を感じた経験」を重ねていきたいと考えております。

＜いじめのこと＞

文章で伝えたい内容を書く自由記述欄には、いじめをはじめとして伝えたいことがありました。選択する部分では、「1～3」自分、「4」友達がいやな思いをしていること、また、「5」いやな思いをさせたことが、どの学年でも一定数ありました。選択・記述ともに、本人に内容を確認し、過去のことや既に解決していること曖昧なことなどもありますが、必要に応じて関係した子どもから聞き取り、本人の保護者や相手方の保護者にもお伝えしております。

言いたいことすべてをアンケートに書けない場合もあるため、保護者のみなさまで気づかれたことがありましたら、学校日より6月号でもお知らせしましたが、担任にお知らせください。

吹田市教育センターでは「いじめのなやみ相談専用ダイヤル」(06-6337-5411)を設けています。対象:本人・保護者 日時:月～金曜日(年末年始・祝日は除く)及び第3日曜日の9時から17時

＜クラスの人のこと＞

「4.クラスの人がこまっているとき助けたり誘ったり…」「5.クラスの人が失敗したときはげます…」「6.クラスの人が何かうまくできたときほめる…」は「そう思う」が70%以上と比較的高い値でした。例年通り、優しい南っ子の側面がうかがえます。ところが、「2.クラスの人の役に立っていると感じています」の「そう思う」は33%と低い値であり、56%は「どちらでもない」と感じています。上記「4・5・6」の様な「友だちのための優しい行動」が友だちの役に立っていることに気づき、自己肯定感、自尊感情につながって欲しいものです。